

情報連絡員報告総括表(平成30年9月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況				
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化		
製 造 業	食 料 品		4			3	1	1	3			4			1	3			2	2			4				2	2	
	織 維 工 業		2	1		3			3			3			2	1			3			2	1			2	1		
	木 材 ・ 木 製 品		1			1		1				1			1				1			1				1			
	紙 ・ 紙 加 工 品		2			2			2			2			1	1			2			2				2			
	印 刷		1			1			1			1			1				1			1				1			
	化 学 ・ ゴ ム																												
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1		2		3			3			3			1	2			3			1	1	1		3		2	1
	鉄 鋼 ・ 金 属		1			1			1			1			1				1			1				1		1	
	一 般 機 器		2	1	1	2			3			3			2	1			3			3			3		1	1	1
	電 気 機 器	1				1			1			1		1					1			1			1		1		
	輸 送 機 器		1			1			1			1			1				1			1			1		1		
そ の 他																													
小 計	2	14	4	1	18	1	2	18			20		1	11	8	2	16	2	2	16	2	1	18	1	2	13	5		
非 製 造 業	卸 売 業	1		1	1		1		2		2			1	1			2					2		1		1		
	小 売 業		3	3	1	4	1	2	4		4	2		3	3			3	3				5	1		3	3		
	商 店 街			1		1			1		1				1			1					1				1		
	サ ー ビ ス 業		2	3					5		5			2	3			5					5			2	3		
	建 設 業	2	2					1	3		1	3		1	3			1	3				4		1	3			
	運 輸 業	1						1			1				1			1					1			1			
	そ の 他		1						1		1			1				1					1			1			
小 計	4	8	8	2	5	2	4	16		1	17	2	1	10	9	1	16	3				19	1	2	10	8			
合 計	6	22	12	3	23	3	6	34		1	37	2	2	21	17	3	32	5	2	16	2	1	37	2	4	23	13		

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成29年9月～平成30年9月)

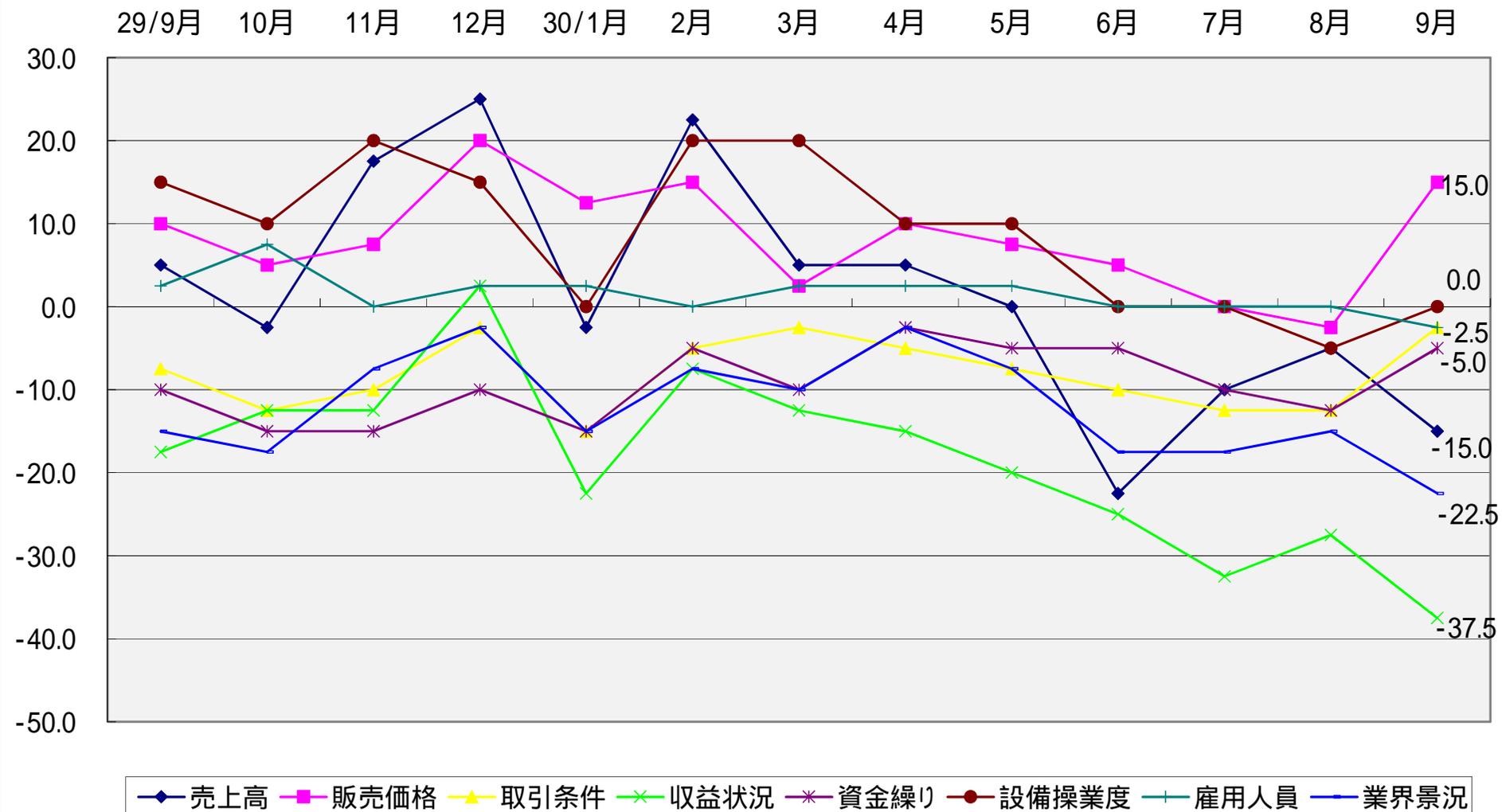
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	29/9月	10月	11月	12月	30/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	増減
売上高	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	22.5	5.0	5.0	0.0	-22.5	-10.0	-5.0	-15.0	-10.0
販売価格	10.0	5.0	7.5	20.0	12.5	15.0	2.5	10.0	7.5	5.0	0.0	-2.5	15.0	17.5
取引条件	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-5.0	-2.5	-5.0	-7.5	-10.0	-12.5	-12.5	-2.5	10.0
収益状況	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-7.5	-12.5	-15.0	-20.0	-25.0	-32.5	-27.5	-37.5	-10.0
資金繰り	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-15.0	-5.0	-10.0	-2.5	-5.0	-5.0	-10.0	-12.5	-5.0	7.5
設備操業度	15.0	10.0	20.0	15.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	5.0
雇用人員	2.5	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	0.0	-2.5	-2.5
業界景況	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-7.5	-10.0	-2.5	-7.5	-17.5	-17.5	-15.0	-22.5	-7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする
企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年9月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	食料品	漬物	秋の長雨や台風の影響により原料野菜の生産が不安定になっており、更に資材の値上がり等により、経営が不安定化している。また、生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、原料野菜の確保に苦慮しており、県外業者との間の新規の取引を検討している。
		醤油味噌	9月4日の台風21号による被害が13件あった。規模は大小様々である。9月1日は四日市じばさん三重において日本青年会議所東海支部主催による地方創生のイベントの中で、『しょうゆもの知り博士の出前授業』を行った。人出は雨天のせいもあってか残念ながら少なかった。初代しょうゆ大使にTBS安住アナウンサーが就任した。今年は10月のイベント『三重・しょうゆ街道』はない。
		豆腐	残暑が厳しい影響で、例年に比べ油揚げ、厚揚げ等の揚げ物の売れ行きは不調である。
		製麺	9月29日、30日と秋田県湯沢市において「まるごとうどんエキスポ」に参加した。湯沢市をあげた取り組みに多数の方が来られてとても賑わっており、勉強になった。稲庭うどんはとて有名であるが、素晴らしい取組みに三重県でも参考に取組めればと思う。
	繊維工業	衣料縫製	技能実習制度を簡略化して欲しい。そうしないと、近隣諸国に負けてしまう。
		テントシート	石油製品、運送費、人件費などが上昇傾向にあり、材料の値上げが決定されている。台風の影響が県内各地にもあり、被害復旧の仕事が増えてきている。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	生産量は例年並みの数量で推移した。月末に王子グループが段ボール原紙、段ボール製品の値上げを11月出荷分から実施すると発表した。古紙価格、運賃、原油価格の上昇等が理由になる。1年前にも値上げがあり、今回ユーザーの値上げへの抵抗が予想される。
		古紙	9月の取り扱い重量は、前年比で段ボール：約98±4%、新聞・チラシ：約92±4%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約94±6%の模様。9月は土日にかかる台風や雨天により古紙の入荷に影響が及んだ。酷暑の後の残暑はなく、少し長めの秋需要となりそう。引き続き段ボール箱数は増加している模様。新聞・チラシ古紙は大きく減少している様である。雑誌・雑紙・古紙は組合員により入荷にバラつきがあり、前年並みのところもあるよう。古紙の持ち去り行為は、より活発になっているように思う。
	印刷	印刷	今年度も三重県より県民手帳の製作販売が当組合に決定した。「三重県の魅力を高める情報手帳」として県全域の発展向上に繋がることを第一に5月より製作に取り組みようやく完成の運びとなった。情報が解禁となり、今後は10月11日(木)の発売に向けて広報活動を行う。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館、古陶館とも入館者数は8月を上回っているが、売上は少し下降し、6月以降低水準が続いている。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は8月とほぼ同様であった。自動車関連部品は若干の伸び、建築関連は横並び産業機械関連は若干の増、その他は横並びであった。電気・半導体関連は、アメリカトランプ政権と中国習近平政権との貿易摩擦を反映し低迷しているが、半導体需要はまだまだ続き、盛り返すことは間違いない。
	一般機器	四日市	地区内コンビナートの工場施設が撤退して東芝関連の需要で一時期活発だった増設ブームも一段落して下請企業は仕事の確保にやや苦労している。受注価格も厳しくて、利益の上らぬ仕事が多い。
伊勢		国内受注状況も先行きやや不透明感が感じられる。当社の海外子会社(中国・インドネシア)の方が先行き不透明感が強い。今後国内にも影響が出てくることを懸念している。	
電気機器	鳥羽	上半期締め月であるが、下半期前倒しなどがあり、受発注共に好調である。	
輸送機器	鈴鹿	この1年ほど前年比プラスで推移していたが、当月はほぼ前年並みで上向き感の鈍化があった。北海道での地震や相次ぐ台風による停電により、稼働停止となった企業の影響で、資材の供給に混乱が生じたため、生産計画にも多くの変更が必要であった。	
非製造業	小売業	青果	野菜前半：台風21号と北海道の地震の影響で多くの品目が品薄になり、特にトマト・キュウリ・ナス等は強風被害と北海道内の輸送が混乱したことにより、ニンジン・大根・玉葱・ジャガイモも入荷が減って高値になっている。群馬のキャベツは順調に入荷。野菜後半：北海道の地震からの復旧が進み、ジャガイモ、玉葱、大根、人参の入荷が回復してきた。キュウリ、トマト、ほうれん草は高い。一方キャベツは例年より安い。果物前半：ナシは台風被害で入荷が減って価格が高い。県内産極むせみかんが入荷してきた。果物後半：県内産極むせみかんが入荷が多くなり、味もよく価格も下がっている。ナシの入荷が減ってきたが、気温の低下で売れ行きが伸びず、安くなってきた。リンゴは品種の切替時期で入荷が少なくやや値上がりしている。

報告者名
報告年月

三重県中小企業団体中央会
平成30年9月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
小売業	自転車	2学期も始まり、人々の行動が広がる季節となった。ここにきて台風、長雨が重なり、天候に左右されやすい自転車業界において通勤・通学・買い物等幅広く利用できる婦人用一般車・シティサイクルの売上が伸びず大変厳しい状況である。今、健康寿命の延伸が大きく課題となっている中、自転車は適正な運動強度を維持しやすく、脂肪燃焼等に効果的であり、生活習慣病の予防が期待できるほか、年齢を重ねた時の歩ける身体づくりに資すると大きくうたわれ、少し前向きに期待するところである。
	石油	9月度は大型台風の影響と8月後半に続き、各元売の原油価格上昇の影響により、値上げ状況であったため、燃料油販売数量については前年対比96%の状況であり、収益も燃料油及び洗車等の油外商品の販売も厳しい状況であった。今後原油価格については、イラン情勢の展開と、産油国の原油生産量次第でさらに価格が上がる傾向にある。
	スポーツ	インターハイが終わり、夏休みが終わり、新しい学期が始まった。運動会のシーズンだが、週末ごとに台風襲来のため、各学校は開催できずに困っている。新チームのユニホームの注文が入り、各組合員の店も受注に頑張っている。また、来春の新入生の体操服の受注と確認の作業が行われている。
商店街	熊野市	今年上陸が相次いだ台風の影響はこの地方でもやはり大きく、周辺地域の観光地や宿泊施設にも大きな影響を与えたようである。インバウンド需要が多い民泊施設などは、特に宿泊稼働率が落ちたようで、施設側では今後SNS等での情報発信をして回復に努めたいとのことである。
サービス業	旅館	月初めの北海道地震に始まり、各地で起こった洪水等の自然災害に加え、相次ぐ台風の影響等、全国的に国内旅行は落ち込んでいた。観光庁が集計中の統計では、8月の国内旅行が対前年比5%程度の減少、インバウンドは対前年比14%増加との中間発表があった。9月の国内旅行はさらに落ち込んでいるように思われる。県下においても3連休は少し盛り上がったが、その後の相次ぐ台風により、進路予報が出るたびにキャンセルが入り、売上の減少とともに台風24号の風害による建物への被害の復旧工事が今後の経営課題となってくる。
	測量	広島県の災害現場へ1社出向いた。A級(大手の測量会社及びコンサル)の下請も各社1件の割合で有り、10月としては例年並みの受注状況である。
	警備	9月の初めには台風で、通過後は秋雨前線、月末は再度台風通過で交通警備、イベント警備はほとんど中止となり、稼働月数は約半分となった。
建設業	総合工事業	建設工事の9月請負額は前年同月と比べ微増。また本年4月1日から9月30日までの間では前年同期間に比べ約1割の増となっている。各公共事業発注機関の施工時期平準化のための早期発注が順調に進んでいると思われる。なお、建設及び建築用の高張力ボルトの入手困難な状況が続いており、建築工事の影響が懸念される。
	内装工事業	9月は売上等、前年同月比で増加となり、一応年間の推移でみると平均化されるような動きと思われる。今後も増減が続いており、最終的に例年並みになると予測される。
	水道工事業 (四日市)	9月は特に大きな変化は見られなかった。ただ大型の台風などによる天候の悪化が仕事の進捗に影響を与えた。
運輸業	トラック	燃料費の高騰が運賃等収入増加分を押し上げ、収益悪化となった。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	引き続きHACCPについて取り組んでいく。次回会議の案内をするので、ぜひ参加して欲しい。
繊維工業	衣料	人件費上昇に対する対策を打ち出して欲しい。
一般機器	四日市	内需の拡大策を考えないと、中小企業(特に製造業)は苦しい。サービス業は伸びる余地があるが、モノ造りは大変だ。
サービス業	旅館	被災地への復興割引等は施行されているが、2015年に出されたプレミアム宿泊旅行券は停滞していた国内旅行需要が活性化された。このような効果の大きい施策を早急に検討いただきたい。自治体で独自に実施しているところもあるが、国、県でもお願いしたい。
サービス業	測量	先細り傾向の上、人材不足である。かといって仕事がないので求人できない状況で、先行きが暗い。